



第1部 府立高校を取り巻く現状と課題

- ① **社会の急激な変化**
人口減少、グローバル化、超スマート社会の到来、ICT利活用の急速な浸透 等
- ② **公立中学校卒業生数の減少**
公立中3生数の一層の減少、高校の小規模化 等
- ③ **公立中学校卒業生の進路状況の変化**
府内私立高校や通信制高校進学者の増加、府立高校の定員未充足の拡大 等
- ④ **生徒の多様化**
求められる選択肢の多様化、定時制・通信制課程の役割の変化、特別な支援を要する生徒の増加 等
- ⑤ **設置学科の状況**
普通科・普通科系専門学科に在籍する生徒の割合の高さ、全国トップの大学進学率、職業学科における地域産業の担い手育成 等
- ⑥ **地域創生における府立高校の役割**
地域への愛着の醸成、地域を支える人材育成への期待 等

第2部 令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方

I 基本的な考え方

※本府教育の基本理念・施策推進の視点:「第2期京都府教育振興プラン」(令和3年3月)に基づく。

◎府立高校の果たすべき役割

<役割を踏まえた高校教育の展開(主な重点内容)>

- 高校教育の質の確保・向上
- 社会的な自立につながる希望進路の実現
- 府立高校の強みである総合力を活かした高校教育の提供
- 学習指導と部活動や学校行事などの教育活動のバランスの良い高校教育の提供
- 時代の変化と社会のニーズに対応した教育環境のもとでの高校教育の提供
- 地域とともにある府立高校づくり
- 地域産業との連携・地域産業を支える人材の育成

<府内高校教育における公私協調>

◎府立高校の魅力を高めるための視点

- 時代の変化を踏まえた学習内容や学習方法等の充実
- 地域との結びつきやスケールメリット等府立高校の強みを活かした魅力化
- 新しい時代の豊かな学びに応えられる教職員の資質向上や体制の整備、施設設備等の教育環境の充実
- 学科の在り方など各高校の特色をわかりやすく見える化
- 生徒の多様なニーズに対応した学びの環境の保障
- 魅力ある高校づくりを進めるために必要な高校の再編整備や入学者選抜制度、学科の在り方など教育制度等の改革に向けた検討

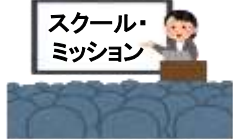
目指す方向性

II 魅力ある府立高校づくり

<1>魅力的な学びの充実

1 スクール・ミッションの再定義

- ・府立高校ならではのスクール・ミッションの再定義(令和4年度中を目途)



5 グローバル人材の育成

- ・外部人材を活用した体験活動や探究的な学びの充実
- ・バーチャルとリアルを併せたハイブリッド留学による世界の学びに触れる機会の拡充
- ・国際バカロレア認定校の導入や教育システムの活用に向けた検討 等



2 新しい時代に応じた探究的な学びや学習スタイルの構築

- ・探究的な学びや教科等横断的な学び(STEAM教育)の充実
- ・生徒1人1台端末を導入した新たな学びの充実
- ・ハイブリッド型の新たな学習スタイルの構築 等



6 教職員の資質能力向上と学校体制等の充実

- ・教職員の研修の充実・人材育成、校内組織の再編・充実
- ・SCやSSW、ICT教育支援員など専門的スタッフの配置
- ・スクールサポートスタッフなど外部人材の活用
- ・校長の同一校在職の長期化など人事異動の在り方検討
- ・働き方改革の推進、教職員の人材確保 等

<2>学科の特色化・魅力化の推進

1 魅力のある新しい普通教育の推進

- ・学科やコースの名称整理、学科の再編等の検討
- ・普通科・普通科系専門学科併設校の学科の在り方検討
- ・中学生や保護者等への効果的な情報発信 等

2 質の高い職業教育と総合学科における学びの充実

- ・高等教育機関等と高校3年間の学びを超えた連携の推進
- ・インターンシップなど企業等との連携強化
- ・職業学科の学科等名称整理、学科再編等の検討
- ・中学生や保護者等への効果的な情報発信 等



III 教育制度等の改革

1 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方の検討

- ・魅力ある高校づくりに向けた高校の再編整備の検討
- ・定時制・通信制課程の再編や再配置の検討
- ・学科再編の検討
- ・全国募集制度や寮などの施設整備の検討 等

2 社会情勢等の変化に対応した入学者選抜の在り方の検討

- ・現行の入学者選抜制度の成果と課題を検証・整理し、関係機関と連携してよりよい制度となるよう検討

3 地域・企業・高等教育機関等との連携強化

- ・高校生と地域の架け橋となるコーディネーターの配置
- ・若手プロフェッショナルの育成
- ・大学等との一貫した授業カリキュラム構築
- ・大学教育の先取り履修による単位認定等の検討
- ・「新生・府立大学」との高大連携の在り方の検討 等

7 学びを支える教育環境の充実

- ・生徒1人1台端末の導入に伴う購入支援制度の充実
- ・職業学科の設備整備・更新、寮の再整備の推進
- ・府外からの積極的な生徒募集
- ・多様な生徒の学習ニーズに対応した教育環境の充実
- ・教育環境づくりへの生徒の主体的な参画の推進 等

<3>柔軟な教育システムの充実

1 定時制・通信制教育の充実

- ・京都フレックス学園構想に基づく教育システム等の充実
- ・通信制と全日制・定時制課程との併修など柔軟な履修制度の構築
- ・ハイブリッド型の新しい通信制課程の設置検討
- ・特別支援教育の専門性をもつ教員等の配置 等

2 全日制課程の柔軟な教育システムの構築

- ・単位数の見直しや履修条件の弾力化等の検討
- ・生徒の個性や才能を伸ばす柔軟な学習スタイルの検討
- ・普通科と専門学科の併修や学科の異動を可能にする高校づくりの検討 等

IV 今後の進め方

○府教育委員会独自で進められる教育内容等の充実・見直しなどは、次年度以降、計画的に進める。

○教育制度等の改革、関係機関と協議しながら進めていくべきものなどは、必要に応じて会議を立ち上げて検討、あるいは個別の実施計画を策定するなどして進める。

4 スケールメリットや教育活動のバランスの良さを活かした魅力化の向上

- ・学校の枠を越えた柔軟な教育課程の検討
- ・異なる課程間での単位履修制度の検討
- ・府立高校間での留學制度の検討
- ・学校行事や部活動等の特別活動の活性化 等



8 発信力の強化

- ・小・中学校教員と高校教員による相互交流、連携の強化
- ・高校生と小・中学生との交流活動の推進
- ・SNSやマスメディア等の積極的な活用
- ・府教育委員会ホームページ等の内容の見直し 等

